

平成20年度 専攻科学生募集要項 (第3次募集)

I 募集人員

ビジネスコミュニケーション学専攻

若干名

II 入学者受入方針

入学者受入方針(アドミッションポリシー)は、下記の条件に該当し、本校の学習・教育目標(P9参照)を達成できる能力を持った人を入学させることである。

- (1) 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人
- (2) 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人
- (3) 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人

III 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成20年3月に卒業見込の者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成20年3月に卒業見込の者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

IV 出願手続

(1) 入学願書受付期間

- ① 期 間 平成20年2月20日(水)~2月29日(金)まで

受付時間は、9時から16時(郵送の場合は16時必着)までとします。

- ② 場 所 福島工業高等専門学校 学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

(2) 出願書類

出願に必要な書類は、次のとおりです。

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
② 受 験 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③ 写 真 票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(5cm×4cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④ 調 査 書	本校所定の用紙に、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤ 入 学 検 定 料 (16,500円) 「郵便振替のみ」	本校所定の用紙により郵便局窓口で払い込んでください。 (機械による払い込みは出来ません。) 「郵便振替払込受付証明書(お客様用)」を出願書類に必ず同封してください。 「払込票」は領収書となるので大切に保管してください。
⑥返信用封筒	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し80円切手を貼付したもの。 ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。

注 本校に入学を志願する者で、身体に障害(学校教育法施行令第22条の3に規定する身体障害の程度)があり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、出願の前に予め学生課入試係に問い合わせ願います。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の記入は、黒又は青インクを使用してください。(ボールペンも可)
- ② 受理した出願書類及び検定料は、理由の如何を問わず返還しません。
- ③ 書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 郵送する場合は、「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

V 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、出身学校長から提出された調査書及び面接の内容等を総合判定して行います。

(1) 学力検査・面接等の日時及び場所

平成20年3月10日(月)

科 目 等	時 間	場 所
英 語	9:00 ~ 10:30	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)
小 論 文	10:40 ~ 12:10	
専 門 科 目	13:00 ~ 15:00	
面 接	15:20 ~	

(2) 学力試験科目及び出題範囲

	英語	英語一般	※ 注
ビジネスコミュニケーション学 専攻	小論文	社会系科目に関するテーマ ①設問への解答, ②小論文(1200字程度)	必修
	専門科目	①経営学, ②経済学, ③基礎会計学(全経簿記2級程度), ④数学(微分積分I, 線形代数, 確率・統計)	左欄の4科目のうち1科目選択

※注 英語: 学力選抜試験日を基準にし、過去2年以内の TOEIC 試験で、400 点以上のスコアを取得した者は英語の学力試験を免除されることがあります。英語の学力試験免除を希望する者は別紙「TOEIC スコアによる専攻科学力選抜試験の一部免除申請書」を提出してください。免除された場合の英語の得点は 80 点になります。

VI 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、8時40分までに受付を済ませてください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

VII 合格者の発表

平成20年3月13日(木)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、受験者全員に合否を文書で通知します。また、本校のホームページにも掲載します。

なお、電話等による合否の照会には、一切応じません。

VIII 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成20年3月21日(金)17時必着で福島工業高等専門学校学生課入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

IX 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「入学確約書」提出者に、後日通知します。

X 個人情報利用について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的等にも利用しますのでご了承願います。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

XI 募集要項の請求

募集要項は、本校学生課入試係に請求してください。

福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721 FAX 0246-46-0742

専攻科案内

1 専攻科の設置

平成16年4月1日

2 専攻科の目的

本校の専攻科は、福島工業高等専門学校における5年一貫教育という特徴を生かした、教育課程のうえに、精深な程度において、学際的領域や広い視野に目を向けた高度の専門的学術を教授研究し、もって豊かな教養と人格を備え、広く産業の発展に寄与する人材を育成する。

3 専攻及び入学定員

機械・電気システム工学専攻	8名
物質・環境システム工学専攻	8名
ビジネスコミュニケーション学専攻	4名
計	20名

4 修業年限及び修了要件等

(1) 修業年限 2年(4年を限度)とする。

(2) 修了要件(下記の①, ②の要件を満たすこと。)

① 2年以上在学し、62単位以上(一般科目6単位以上, 専門関連科目14単位以上, 専門科目42単位以上)を修得する。

② TOEIC 400点以上を取得する。

5. 専攻科の入学資格

(1) 高等専門学校を卒業した者

(2) 短期大学を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入することができる者

(4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

(5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者

(6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

6 学士の学位の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上在学し、所定の62単位以上を修得し、大学評価・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位が取得できる。ただし、専攻科入学前の取得科目により、学位授与機構が定める専攻に係わる授業科目・単位が不足するときには、他の高等教育機関等で取得する必要があります。

7 専攻科の教育方針と特色

本校の専攻科の共通点としては、早期専門教育や実験・実習・演習などの実践的教育を重視する高専制度の特徴を生かすと共に、本校独自の工学系・ビジネス系学科を併せ持つことによ

る利点，すなわちシナジー教育を活用し，更に2年間でより高度な科学技術・ビジネス教育を実施する。それによって，外国語能力やコミュニケーション能力を備えた国際的な実践的技術者と外国語・情報科学と共に工学的知識を修得したビジネスマンを育成することを目的としている。

(1) 機械・電気システム工学専攻

本科の機械工学科，電気工学科のそれぞれの専門的な基礎の上に，機械設計関連，システム制御関連，電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目と並んで，技術経営論，ベンチャービジネス論などのビジネス系科目を開設して，境界領域分野や高度情報化社会における先端技術の開発や技術移転にも対応できる「実践的技術プロフェッショナル」の育成を目指す。

(2) 物質・環境システム工学専攻

本科の物質工学科，建設環境工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ，その応用性や専門性を深めさせる。また，さらに高度な環境工学関連の科目を履修し，技術経営論，ベンチャービジネス論などのビジネス系科目を履修させ，自己の専門領域を超えたプロフェッショナル育成のための教育を行う。それによって，環境への影響に配慮しつつ先端技術に柔軟に対応できるスキルを身につけた「実践的技術プロフェッショナル」の育成を目指す。

(3) ビジネスコミュニケーション学専攻

本科のコミュニケーション情報学科の外国語，情報科学，コミュニケーション科学を中心にした社会科学の基礎の上に，経営管理系科目，生産管理系科目，ベンチャー・地域計画学の専門科目の他，工学系ービジネス系シナジー効果の期待できる情報工学特論，環境解析評価論，安全工学特論，産業技術特論Ⅰ及びⅡを履修させる。それにより，工学的知識を獲得し利用できるスキルを持ち，国際社会に対応したビジネスコミュニケーション能力を有し，ものづくりの生産ラインに係わるマーケットリサーチ，企画，開発，生産，管理(材料・生産・在庫)流通，販売の実務能力を有し，地域に根ざしたグローバルな視点を持ち「実践的ビジネスプロフェッショナル」の育成を目指す。

8 専攻科の教科構成 ()内は単位数，○印は必修科目を示す。

一般科目	○倫理学 (2)	
	○科学技術史 (2)	
	現代英語Ⅰ (2)	
	現代英語Ⅱ (2)	
	現代化学 (2)	(6単位以上修得)
	(計10単位)	

専門関連科目	産業技術特論Ⅰ (2)	○ ビジネス英語 (2)
	産業技術特論Ⅱ (2)	○ ベンチャービジネス論 (2)

安全工学特論 (2) ○ 技術経営論 (2) 情報工学特論 (2) ○ 経営管理論 (2) 環境解析評価論 (2) (計18単位)	(14単位以上修得)
--	------------

〔注〕機械・電気システム工学専攻は産業技術特論Ⅱを、物質・環境システム工学専攻は産業技術特論Ⅰを、
コミュニケーション学専攻は産業技術特論Ⅰ及び産業技術特論Ⅱを修得すること。

専 門 科 目		
機械・電気システム工学専攻	物質・環境システム工学専攻	ビジネスコミュニケーション学専攻
専攻科共通科目 ○特別セミナー (2) ○生産管理論 (2) ○製品開発論 (2) (計6単位)		
インターンシップ(2) 応用解析学Ⅰ(2) 応用解析学Ⅱ(2) 統計物理学 (2) 振動論(2) 材料科学(2) (計12単位)		経済経営数学(2) コーポレート・ファイナンス(2) 都市経済学(2) 市場戦略論(2) 広告メディア論(2) 財務諸表論(2) ロジスティックス論(2) 数理意思決定論(2) 経営分析論(2) ○ビジネスセミナー(2) ○特別研究(18) ○企業実務実習(2) ○経営学特論Ⅰ(2) ○経営学特論Ⅱ(2) ○データベース論(2) (計46単位)
エネルギー変換工学(2) 塑性加工学(2) 熱流体工学(2) 機能性材料工学(2) ロボット工学(2) 機械振動学(2) 音響工学(2) 電子物性工学(2) 電気磁気学特論(2) 制御システム工学(2) 電子回路特論(2) ○機械・電気システム工学実験(2) ○機械・電気システム工学セミナー(2) ○特別研究(18) (計44単位)	反応工学特論(2) 生体機能化学(2) 合成化学特論(2) 生体分子工学(2) 高分子材料特論(2) 物質循環工学(2) 生態工学(2) 連続体力学(2) 材料強度学(2) 複合構造工学(2) 環境地盤工学(2) 計画数理(2) ○物質・環境システム工学実験(2) ○物質・環境システム工学セミナー(2) ○特別研究(18) (計46単位)	

〔注〕○印の科目は、必修

(42単位以上修得)

9 専攻科の入学及び進路状況

(1) 専攻科の入学定員等

専攻科の各専攻の入学定員及び対応する本科(基礎となる学科)は次のとおりである。

専 攻 科 専 攻 名	専 攻 科		本科(基礎となる学科)		
	入学定員	総定員	学 科 名	入学定員	総定員
機械・電気システム工学専攻	8人	16人	機械工学科	40人	200人
			電気工学科	40人	200人
物質・環境システム工学専攻	8人	16人	物質工学科	40人	200人
			建設環境工学科	40人	200人
ビジネスコミュニケーション学専攻	4人	8人	コミュニケーション 情報学科	40人	200人
計	20人	40人	計	200人	1,000人

(2) 修了後の進路

① 大学院への進学

専攻科修了に伴い大学評価・学位授与機構より学士の学位を取得し、国公立の大学院修士課程へ進学

② 産業界への就職

産業界における活動分野は、大学の学部卒と同等に扱われ工学専攻の2専攻では、製品・技術開発者やシステムエンジニア、公務員、技術士、弁理士等、ビジネスコミュニケーション学専攻では、企業内・産学官連携・国際関係のコーディネーター、マーケットリサーチ・企画・開発・生産管理等のプロジェクトマネージャー、公務員、弁理士等

10 出願時及び入学時に必要な経費(予定)

種 別	金 額	備 考
入学検定料	16,500 円	入学検定料は、出願時に納入する。
入 学 料	84,600 円	入学手続き時に納入する。
授 業 料	117,300 円	年額 234,600 円を2期に分けて納入する。 一括納入もできる。
教 科 書 代	未 定	各専攻により別途指定する。

11 入学料・授業料の免除

(1) 入学料免除

入学前1年以内に学資負担者が死亡し、または風水害などの災害を受け、入学料納付が非常に困難であるなどの場合は、入学料が免除される制度がある。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度がある。

12 奨学金制度

独立行政法人 日本学生支援機構の規定に基づき、学業、人物ともに優れ、かつ健康であって、授業料の納付が困難であると認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度がある。

13 寮の希望

本校の学寮に入寮希望する場合は、選考の上、許可することがある。

14 「産業技術システム工学」プログラム

(1) 本校の技術者教育プログラム

本校では、大学の学部4年間に相当する本科4、5年次と専攻科1、2年次の4年間について、工学系4学科2専攻を1つにした工学（融合複合・新領域）関連分野の教育プログラム「産業技術システム工学」を設定し、国際的に通用する人間性豊かな実践的技術者を育成するための教育を行っています。この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）の基準に準拠しており、本校は平成18年度に認定審査を受けました。この教育プログラムが認定されると、プログラム修了生は国家資格である「技術士」になるための第1次試験を免除されて、「修習技術者」の資格が得られ、申請により「技術士補」の免許を得ることができます。ビジネス系であるコミュニケーション情報学科及びビジネスコミュニケーション学専攻については、準備が整い次第、教育プログラ

ムを設定し、認定審査を受ける予定です。

本プログラムで育成する技術者像は、①十分な基礎学力の上に専門知識を習得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる技術者、②モノづくりと環境保全の調和に配慮できる技術者、③外国語能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的技術者です。

本校の教育は、工学系およびビジネス系学科・専攻科相互の協働（シナジー）効果による学際的な教科を含む複眼的視野の教育プログラムが可能になる点に特色があります。

(2) 本校の学習・教育目標

上述の技術者を育成するため、本校では、以下に示す学習・教育目標を設定しています。

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目ービジネス系科目との協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) 情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、国際社会に必要なコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

(3) 技術者教育プログラムの履修対象者

本教育プログラムは、本科4、5年および専攻科1、2年のカリキュラムで構成されていますので、本科3年を修了し4年次に進級した者及び高校等からの4年次編入学者全員が履修者となる可能性を持っています。しかしながら、本科5年卒業後に本校専攻科に進学せず就職する者、他高等教育機関に進む者もいますので、最終的には、本校専攻科に入学した者を本教育プログラム履修者とします。一度就職し、その後本校専攻科に入学する者も含まれます。

なお、学則第31条に定める専攻科に入学できる者で、審査によって認定された科目および専攻科教育課程表の科目だけでは本教育プログラムの修了要件を満足できない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。

(4) 技術者教育プログラムの修了要件

本教育プログラムを修了するには、以下の具体的な要件を満たす必要があります。

- ① 専攻科を修了すること。
- ② 学士の学位を取得すること。
- ③ 教育プログラムのカリキュラムにおいて、124単位以上を修得すること。
- ④ 教育プログラムのカリキュラムにおいて、総計1,800時間以上の学習保証時間（教員等の指導のもとに行った学習時間）を経験すること。
（この時間には、人文科学、社会科学等（語学教育を含む）の学習250時間以上、数学、自然科学、情報技術の学習250時間以上、および専門分野の学習900時間以上を含んでいなければならない。）
（どの科目でこれらの学習保証時間を満たすかは、学科、専攻、また科目の選択の仕方で異なる。入学後に配布する資料を参照すること。）
- ⑤ 次のア～オの各系に対し、定められた科目群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上

を修得すること。

ア)設計・システム系、イ)情報・論理系、ウ)材料・バイオ系、エ)力学系、オ)社会技術系
(どの科目がどの科目群に属するかは、学科、専攻で異なる。入学後に配布する資料を参照すること。)

⑥ 学協会で特別研究に関する内容を発表すること。

平成20年度 専攻科入学願書

福島工業高等専門学校

志望専攻	専攻	受験番号	※
試験科目 (専門)選択 (番号を記入し てください)	ビジネスコミュニケーション学専攻(1科目)		
志	ふりがな 氏名	男 女	生年月日 昭和 年 月 日
	ふりがな 現住所	〒 - 電話番号 () -	
願	出身	高等専門学校 学科 短期大学 科 専修学校 科 昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込み・修了・修了見込み	
	学校	〒 - 所在地 電話番号 () -	
者	学歴	自 昭和・平成 年 月 日 至 昭和・平成 年 月 日	
	職歴	自 昭和・平成 年 月 日 至 昭和・平成 年 月 日	
勤	名称 (部課まで)		
	所在地	〒 - 所在地 電話番号 () -	
合格通知等 の受信場所	〒 - 所在地 電話番号 () -		

[記入上の注意]

- ※印欄は記入しないこと。
- 「性別」、「卒業・卒業見込み」、「修了・修了見込み」欄は、該当する文字を○で囲むこと。
- 学歴及び職歴欄は、高等専門学校又は高等学校卒業から記入すること。
- 勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入すること。

平成20年度 専攻科入学

写真票

福島工業高等専門学校

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
<small>ふりがな</small> 氏名		男・女
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"><p>写真貼付</p><p>タテ 5 cm ヨコ 4 cm</p><p>最近3ヵ月以内に上半身、 脱帽、正面向きで撮影した ものを貼ってください。</p></div>		

※印欄は，記入しないこと。

平成20年度 専攻科入学

受験票

福島工業高等専門学校

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
<small>ふりがな</small> 氏名		男・女
<p>試験日時 平成20年3月10日(月) 9時</p> <p>試験場所 福島工業高等専門学校</p> <ul style="list-style-type: none">・受験者は開始 20 分前までに集合すること。・本票は試験が終了するまで必ず携帯すること。・本票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに検査本部へ届け出て指示を受けること。		

※印欄は，記入しないこと。

平成20年度福島工業高等専門学校専攻科

調 査 書

志望専攻	専攻		受験番号	※		
ふりがな 氏名 生年月日	昭 和 年 月 日 生	男・女	学 校 学科名	国立 公立 私立 高等専門学校 短期大学 専門学校 学科		
昭和・平成	年 月 日 入学 編入学 転入学	昭和・平成	年 月 日	卒業・卒業見込 修了・修了見込		
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長(学長)が作成したものを添付の上厳封すること。修得単位数が明記されているもの。(成績の評定基準を右表に明示すること。)	評 定 基 準	評定の区分	点数の範囲		
				点 ~ 点		
				点 ~ 点		
				点 ~ 点		
				点 ~ 点		
学科内席次	1年	人中	位	4年	人中	位
	2年	人中	位	5年	人中	位
	3年	人中	位			
卒業研究題目						
卒業研究要旨						
在学中の状況						
上記の通り相違ないことを証明する。						
平成 年 月 日						
学 校 名						
校長・学長氏名						
印						

記入上の注意

- ※印は、記入しないこと。
- 在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入すること。

TOEICスコアによる専攻科学力選抜試験の一部免除申請書

平成 年 月 日

福島工業高等専門学校長 殿

出願専攻名 _____ 専攻

氏 名 _____

TOEIC テスト((財)国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会実施)において、下記のとおりスコアを取得しておりますので、専攻科学力選抜試験科目のうち、英語の学力試験の免除を申請します。

記

試験の種類	1. 公開テスト 2. IP テスト (いずれかに○印を付ける。)
試験日	平成 年 月 日
取得スコア	点

- ※ 学力選抜試験日(第3次募集)を基準に、2年以内に取得したスコアを記入すること。
- ※ 「公式認定書証」又は「個人成績表」の原本及び写しを一部添付すること。原本は確認後返却する。

目 次

〔専攻科学生募集要項〕（第3次募集）

I 募集人員	1
II 入学者受入方針	1
III 出願資格	1
IV 出願手続	1
V 選抜の方法	2
VI 受験上の注意事項	3
VII 合格者の発表	3
VIII 入学確約書の提出	3
IX 入学手続等	3
X 個人情報の利用について	3
XI 募集要項の請求	4

〔専攻科案内〕

1 専攻科の設置	5
2 専攻科の目的	5
3 専攻及び入学定員	5
4 修業年限及び修了要件等	5
5 専攻科の入学資格	5
6 学士の学位の取得	5
7 専攻科の教育方針と特色	5
(1) 機械・電気システム工学専攻	6
(2) 物質・環境システム工学専攻	6
(3) ビジネスコミュニケーション学専攻	6
8 専攻科の教科構成	6
9 専攻科の入学及び進路状況	7
10 出願時及び入学時に必要な経費（予定）	8
11 入学料・授業料の免除	8
(1) 入学料免除	8
(2) 授業料免除	8
12 奨学金制度	8
13 寮の希望	8
14 「産業技術システム工学」プログラム	8

〔各種用紙〕

各 種 用 紙

平成20年度

専攻科学生募集要項
(第3次募集)

〔 入 学 案 内 〕
〔 出 願 書 類 添 付 〕

Fukushima National College of Technology
国立福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721 (学生課入試係)

FAX 0246-46-0742 (学 生 課)

URL <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>